

中央ばね工業が新設備導入

レアメタル製微細ばね注力

医療や半導体産業に向け

中央ばね工業(千葉県柏市、井上英博社長)はNC「イリングマシン」「SF-1A」を2月に、NC「オーミングマシン」「DZ-3A」を6月に導入。レアメタル(タンクステンやニッケルチタン合金)を素材に医療・半導体産業向けで微細ばねを、エネルギー産業向けで複雑形状のトーションの製造体制を拡充した。

「SF-1A」を導入
した背景は線径φ0.1
り未満の線材加工の需
要が増加傾向で、社内に
あつた対応線径φ0.6
～0.2ミリのコイリング
機「SF-1A」導入を

グマシンで線径φ0.03
ミリ以下の加工まで対応して
きたが、顧客のさらなる
高い要求に応える為によ
り精度の高い極細線専用
機「SF-1A」導入を

決定した。

同社は以前よりタンク
ステン加工得意として
おり、導入によって試作
開発として受注を受けた

「DZ-3A」は半導
体産業関連での用途をは
れています。

またコントラクトプロー
ブの通電検査で使用する
装置内の部品において、
今までには極細径のピアノ
線に金めっき処理をして
使用される事が多かつた

が、同社ユーザーから素
材をタンクステンや銅合
金製造需要が増えた事を
じめ複雑形状のトーション
製造需要が増えた事を

ナ、ニッケルチタン合金
をはじめ複雑形状の加工
造に注力。井上広次常務
は「レアメタル各種の特
性を熟知し加工ノウハウ
を元々持ち合っていた

ので、それを微細ばね
工に、そして単一大量ロ
ットでなく試作受注を含
む多品種小ロットを目指
す事で、2025年まで

5億円(約1.7倍)に
させたい」と話している。

SF-1Aの加工サンプル(ケース内に
フィードローラーとワイヤガイドの
微細ばね)※ケース外にある縦の線同士
の幅は約8ミリ



SF-1A

グマシンで線径φ0.03
ミリ以下の加工まで対応して
きたが、顧客のさらなる
高い要求に応える為によ
り精度の高い極細線専用
機「SF-1A」導入を

決定した。

同社は以前よりタンク
ステン加工得意として
おり、導入によって試作
開発として受注を受けた

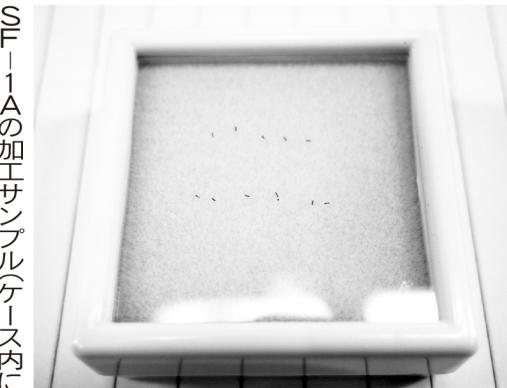
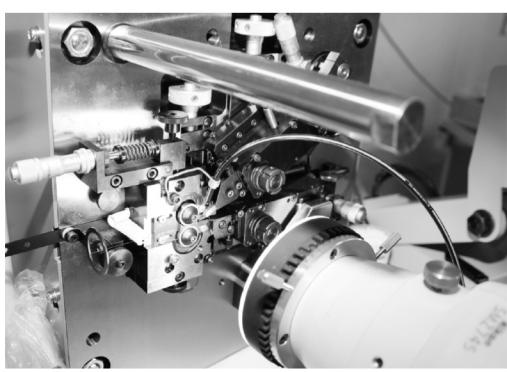
「DZ-3A」は半導
体産業関連での用途をは
れています。

またコントラクトプロー
ブの通電検査で使用する
装置内の部品において、
今までには極細径のピアノ
線に金めっき処理をして
使用される事が多かつた

が、同社ユーザーから素
材をタンクステンや銅合
金製造需要が増えた事を
じめ複雑形状のトーション
製造需要が増えた事を

ナ、ニッケルチタン合金
をはじめ複雑形状の加工
造に注力。井上広次常務
は「レアメタル各種の特
性を熟知し加工ノウハウ
を元々持ち合っていた

ので、それを微細ばね
工に、そして単一大量ロ
ットでなく試作受注を含
む多品種小ロットを目指
す事で、2025年まで



グマシンで線径φ0.03
ミリ以下の加工まで対応して
きたが、顧客のさらなる
高い要求に応える為によ
り精度の高い極細線専用
機「SF-1A」導入を

決定した。

同社は以前よりタンク
ステン加工得意として
おり、導入によって試作
開発として受注を受けた

「DZ-3A」は半導
体産業関連での用途をは
れています。

またコントラクトプロー
ブの通電検査で使用する
装置内の部品において、
今までには極細径のピアノ
線に金めっき処理をして
使用される事が多かつた

が、同社ユーザーから素
材をタンクステンや銅合
金製造需要が増えた事を
じめ複雑形状のトーション
製造需要が増えた事を

ナ、ニッケルチタン合金
をはじめ複雑形状の加工
造に注力。井上広次常務
は「レアメタル各種の特
性を熟知し加工ノウハウ
を元々持ち合っていた

ので、それを微細ばね
工に、そして単一大量ロ
ットでなく試作受注を含
む多品種小ロットを目指
す事で、2025年まで

5億円(約1.7倍)に
させたい」と話している。

グマシンで線径φ0.03
ミリ以下の加工まで対応して
きたが、顧客のさらなる
高い要求に応える為によ
り精度の高い極細線専用
機「SF-1A」導入を

決定した。

同社は以前よりタンク
ステン加工得意として
おり、導入によって試作
開発として受注を受けた

「DZ-3A」は半導
体産業関連での用途をは
れています。

またコントラクトプロー
ブの通電検査で使用する
装置内の部品において、
今までには極細径のピアノ
線に金めっき処理をして
使用される事が多かつた

が、同社ユーザーから素
材をタンクステンや銅合
金製造需要が増えた事を
じめ複雑形状のトーション
製造需要が増えた事を

ナ、ニッケルチタン合金
をはじめ複雑形状の加工
造に注力。井上広次常務
は「レアメタル各種の特
性を熟知し加工ノウハウ
を元々持ち合っていた

ので、それを微細ばね
工に、そして単一大量ロ
ットでなく試作受注を含
む多品種小ロットを目指
す事で、2025年まで

5億円(約1.7倍)に
させたい」と話している。

さらに約400度の高
温で使用すると思われる
設備機器メーカーから耐
熱微細ばね製造の要望も
あり、500度の環境下
でも「へたらない」タン
ゲスティンは需要がある
と見込んでいる。

「DZ-3A」は半導
体産業関連での用途をは
れています。

DZ-3Aの加工サンプル
ル※縦の線同士の幅は約
8ミリ